

事例3

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代の患者。5 年前、胆嚢結石を指摘。糖尿病、高血圧症合併。
- ・ 死因は、胆汁性腹膜炎による敗血症性ショック（推定）。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ Mirizzi 症候群を伴う急性胆嚢炎で入院。入院当日、経皮経肝胆嚢ドレナージ施行。約 1 か月後、腹腔鏡下胆嚢摘出術施行。入院中ラクナ梗塞発症。
- ・ 胆嚢頸部から総胆管に高度な癒着があり剥離困難。胆嚢管が剥離できず胆嚢頸部で離断。胆嚢管の離断部を結紮できず大網充填を行い、モリソン窩に吸引閉鎖式ドレーンを留置した。術中出血量約 100 mL、手術時間約 2 時間。
- ・ 術後 1 日目より発熱、術後 2 日目よりドレーンから胆汁排出あり胆汁性腹膜炎と診断、術後 3 日目に死亡。